

第
29
号

大津町

OZUMACHI GIKAI DAYORI

議会だより



平成16年 8月1日

発行/大津町議会
編集/議会広報編集特別委員会
〒869-1233
熊本県菊池郡大津町大字大津1233
☎(096)293-3111



肥後大津駅を発車するあそＢＯＹ（つつじ祭フォトコンテスト松岡孝一氏提供）大津の風景⑤

ガイドライン
6月定例議会

定例会審査報告 ————— P2

常任委員会審査報告 ————— P3

「町政を問う」一般質問（7人） ————— P4～10

議員辞職勧告を決議・4町合併住民投票結果 ——— P11

編集後記・議会の動き ————— P12

6月定例会

●旧体育館・26年間親しまれ解体撤去に
●合併前の国保税改正に待った
国保税値上げ案を撤回・負担減らす再提案を可決

六月定例会を十五日から二十一日まで七日間の会期で開き、各会計予算・条例改正・備品購入の承認などを審議しました。

一般会計補正では、旧体育



町民に親しまれてきた旧体育館

館の解体撤去費（三千八百十万円）が主なものでした。旧体育館は、昭和53年に当時のボーリング場を町が購入改装したのですが、傷みが激しく、新体育館の完成をみて26

年間の役割を終

えることになり

ました。跡地利

用は、現在検討

中です。

国民健康保険

特別会計補正と

同条例改正は、

国保税・介護保

険料の値上げと

して提案されま

したが、委員会

審査の中で「合

併を進めようと

する中で、なぜ

大津町だけ値上

げなのか？」

「合併後に見直

すべきでは？」などの意見が出され、大村町長が答弁に立ち「町民の負担を抑える立場から内容を再検討する。議案を撤回し再提出したい」と答弁があり、委員会も了承しました。

再提出された議案は、国保税を値下げする内容となっており、本会議でも賛成多数で可決しました。その他の補正予算、条例改正などは全員賛成で可決しました。

一般質問は七人。町民からの請願、陳情三件を採択。政府への意見書二件を可決。人権擁護委員として木村長夫氏の再任を承認しました。

臨時議会報告5/7

五月七日の臨時議会で議員発議により「志賀敏男議員に對して辞職勧告」を賛成多数で決議しました。

請願・陳情の審査結果

請願	義務教育費国庫負担制度の堅持の意見書提出	採 択
請願	教育基本法の早期改正を求める意見書提出	継続審議
陳情	錦野区中良地町道拡張	採 択
陳情	日暮橋架け替えについて（継続審議案件）	採 択

16年度補正予算

◎全員賛成
○多数賛成

会 計 名		予 算 額	補 正 額
◎	一般会計	91億6,976万円	2億7,782万円
特 別 会 計	○ 国民健康保険	20億5,341万円	同額補正
	◎ 老人保険	27億8,609万円	1,728万円
	◎ 公共下水道	12億2,965万円	541万円
	◎ 農業集落排水	4億4,105万円	56万円
	◎ 工業用水道事業会計	4,606万円	同額補正

政府へ意見書を提出（要旨）

地球温暖化防止のための森林吸収源対策の確実な推進を求める意見書

わが国の森林は、木材の供給はもとより、国土の保全、良質な水の安定的な確保など多面的機能を有しており……

温暖化対策税の創設とその税を森林整備を推進するための新たな財源として位置付け……地球温暖化防止のための森林吸収源対策の確実な推進と林業の活性化ならびに山村振興を図られるよう強く要望する。

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

国においては、国庫補助・負担金・地方交付税、税源委譲を「三位一体」として改革案をまとめる予定……

義務教育に対する責任は、第一義的に国が負うべきである。よって、国におかれては、憲法が保障する教育の機会均等及び、地方財政の安定を図る意味からも義務教育費国庫負担制度を堅持されるよう強く要望する。

委員会報告

総務文教

Q 女性研修センターの用途変更があったが、今後どうするか。又他の町の状況は。

A 菊陽町では、三里木町民センターと働く婦人の家が併設されています。職員2名、嘱託・保育士が配属され、働く女性、家庭で働く女性等が利用されています。合志町では空事務所を利用され、補助金を出して、運営は女性グループに任せてあり



旧体育館玄関付近

ます。

今後は、複合施設の中に位置付けるよう検討しています。

Q 国道・県道における防犯灯設置工事に補助はないのか。

A 国道・県道については、国・県からの補助はありません。電気料も町負担です。

Q 仮宿水道助成金は。

A 今回、大津菊陽水道企業団に組み入れることに伴い、既設

の水道管は50年以上前のものであり、今は使えず、新設工事のための補助です。

Q 旧体育館取壊撤去工事にもない文化ホール利用者の安全確保は大丈夫か。

A 高さ5メートルの安全保護柵を作り、安全保護を図ります。駐車場からホールまでの通路は舗装して復旧します。

建設

一般会計補正予算関連

Q 桜山交差点模型作成業務委託百四十三万円とは。

A 都市計画道路三吉原北出口線、桜山交差点の地形模型をつくり、早期開通に資するものです。図面ではわかりにくいので、立体的な模型で「トンネル交差」「平面交差」の二通りをつくり、関係者、地権者等に説明

を行う予定です。

Q 道路新設改良費の二千百九十万円は。

A 国道57号線の四車線化に伴い、吹田団地57号線を国が国道から50メートル改良する。それに併せて町が団地側50メートルを改良することにより、交通事故の防止を図るものです。用地買収単価は、国道57号線沿いは



早期完成が待たれる桜山交差点

国土交通省買収単価の75パーセント程度。一筆離れた土地は半額で予算計上しています。

経済



岩戸の里の受付及び売店

一般会計補正予算関連

Q 南部工業団地の企業誘致の活動状況は。

A ホームページへの掲載、及び県の東京・大阪事務所を中心に連携を取り活動しています。東京3件、名古屋5件、大阪2件等15件がありますが、企業の反応は大変厳しい状況です。

Q 総合交流ターミナル施設

(岩戸の里)の新泉源と改善計画はどうなっているか。

A 施工監理者をお願いして現在の井戸より30メートル程離れた地点に新しい井戸を掘削の予定です。これは掘削の時に現在の井戸と交差しないように、又濁らない様にするためです。700メートル又は、1000メートル掘るのはこれから対

応していきます。

新しく掘る場合の管は、鉄やステンレスではなく、錆びにくく腐蝕しにくいFRPを使う考えです。今後はポンプを換える時など管の掃除等のメンテナンスをする必要があると思います。

売上げ、集客をどうすべきかの話し合いを随時しながら赤字とならない様頑張っていきます。

町政を問う 一般質問



永田 和彦 議員

新市長選挙について

今後の方向を示すためにも、四町合併した場合「市長選に出馬する意思はあるのか」お聞きしたい。

大村町長

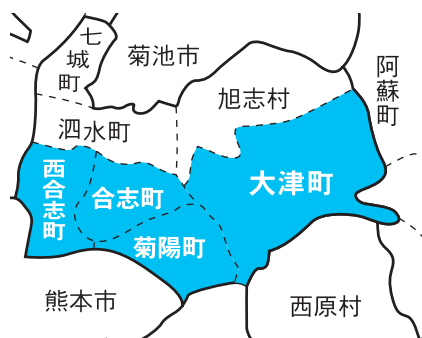
四町合併した後、市長になる意思があるのか、立候補する意思があるのかというご質問について、端的かつ重要な問題だと自分でも思っております。

永田議員のご質問に即答できないことは残念ですが、私が今する仕事とすれば、町民の皆さんのご理解を得て合併協議を一生懸命進め、合併を実現していく。それが自分に与えられた仕事とっております。

簡潔に申し上げますと、現在の私の頭の中には、市長選の「し」の字もないというのが自分の偽らざる心境です。

市長選挙の「し」の字も頭がない合併協議をすすめることが仕事

永田議員のご質問に即答できないことは残念ですが、私が今する仕事とすれば、町民の皆さんのご理解を得て合併協議を一生懸命進め、合併を実現していく。それが自分に与えられた仕事とっております。



4町が合併すると10万都市になる

合併特例債で社会資本の整備？

住民説明会において、大津町は他町と比べて社会資本の整備が遅れている。合併すれば合併特例債で行うと説明されたが、失政の理由と合併特例債が遅れている社会資本整備に使える根拠は。

大村町長

大津町が、他の三町に比べて社会資本の整備が遅れていることは事実です。失政であつたかということもご指摘がありまして、たけれども、その時々時代のニーズあるいはその責任において処理されてきたものであります。すし、議会も当然それをお認めの上での大津町としての行き方ではなかったろうかと思えます。

何よりも大津町が他の三町に比べて、自然財産も含めて、行政エリアが広いということ。例えば他の三町と同じ額を投資したとしても、その整備が遅れるというのは物理的に当たり前のことだろうと思えます。確かに下水道、道路事情などは、整備が遅れています。が、町全体の資本の整備状況は、決して遅れてはいないのではないかなと思います。

行政エリアが広いため失政とは言えない 特例債の根拠はあるが新市建設計画に盛り込むことが必要

何よりも大津町が他の三町に比べて、自然財産も含めて、行政エリアが広いということ。例えば他の三町と同じ額を投資したとしても、その整備が遅れるというのは物理的に当たり前のことだろうと思えます。確かに下水道、道路事情などは、整備が遅れています。が、町全体の資本の整備状況は、決して遅れてはいないのではないかなと思います。

ある元職員が、失政あるいは町の行政の在り方も暗に認めておるじゃないか。というご指摘がありました。元職員も自由な立場ですのでそれを制限することはできませんけれども、誤解を招く可能性もあります。すし、議員からご指摘がありましたようなことも、当然裏返しで言えばそういうことだということも暗に認める結果にもなるわけです。

合併特例債は、国の市町村合併支援のプランの中で、①合併市町村の一体性の速やかな確立を図るための公共施設の整備事業。②合併市町村の均衡ある発展に資するための公共施設の整備事業。③合併

市町村の建設を総合的かつ効果的に推進するための公共施設の総合整備事業となっており、それが根拠です。

そして、新市になった場合に、それがいわゆる担保として認められるためには、新市建設計画に織り込んでおく、盛り込んでおく必要があるということです。

ただし、新しい市の財政というのには決して安心できるものばかりではございませんので、大津町が目指すものがすべてが短期間にできるという保証もございません。

合併に関する様々な問題点をシビアに分析して、シビアに解決していく。これが行政として求められる考え方ではなからうかなと思います。

住民投票について

断言はできませんけれども、代議士の名前、議員の皆さんのお名前が出てきたり、私の進退に関することまで出て、決して気持ちのいいものではありませんでした。

「私たちが議論するのはそこではないでしょう」と声高にやはり叫ばねばならないというのが感じとしてございました。

結果を謙虚に 受け止めていきます

大村町長 合併に向けての意思表示は明確に述べております。それを進めることが私の役目であるとも思っています。町を二分した住民投票の結果を謙虚に受け止めてやっています。全ての町民の方が大津町を愛し、あるいは大切に思っており、その気持ち



5 / 23日の住民投票所

を大切にしていけることが大事であると思っています。いずれにしても方向性が定まりました。住民投票の結果が、多くの方の最終的な判断として、「よかったな」と言っていた、だくような形に持っていきたいと思っています。

四町合併の賛否を問う住民投票の結果は賛成多数だった。条例では「町民、町議会及び町長は、住民投票の結果を尊重しなければならない」としている。町長は、この結果を真摯に受け止め、改めて「四町合併へ向けていささかのゆるぎなし」との姿勢を、広く町民に表明する責任があると思うがどうか。

四町合併への決意を問う



月尾純一郎 議員

町も積極的に取り組みます

事件に対する17項目のマニュアルを作っています。今回、警察及び療法心理士のカウンセラーを呼んでの教職員の研

武田教育長 21世紀を、このグローバルな世の中を、どんどん引張っていく、強く生きていくためにはそれなりのことも達の体力、気力等の充実が必要だと思っています。私達も「こども達は町の宝」という気持ちで学校運営、教育等に携わっています。学校等施設内の安全管理総点検については、学校でのいろいろな

安全対策協議会の設置については、具体的な目的に沿って、こどもを守るという強烈な立場で取り組んでいきたいと考えています。通学路の安全点検については、もう一度PTA、学校、教育委員会で、こども達が安全に通えるよう点検をし、努力をしていきたいと思っています。



セーフティボランティア制度に取り組む護川小

- こども達は未来から託された大切な社会の宝。国の宝。世界の宝。こども達が本心に安心して暮らせる社会となるよう町の総合力を結集して取り組まなければならない。
- ①「パトロール中」というステッカーを作成し、防犯意識の啓発、犯罪者への警告をしていく考えはないか。
 - ②小・中学校、幼稚園、保育園等施設内の安全管理体制の総点検。「スクールポリス」システムの導入などの考えはないか。
 - ③保護者、自治会、警察などの地域諸機関が、学校等と協力して「学校等安全対策協議会」を設置し、地域ぐるみでこども達の安全を確保する体制をつくる考えはないか。
 - ④こども達の通学路の総点検をしていく考えはないか。

修会を考えています。

安全対策協議会の設置については、具体的な目的に沿って、こどもを守るという強烈な立場で取り組んでいきたいと考えています。

こども達の安全と安心を守れ

大村町長

こどもを含めた地域の安全を守るというのは、行政の最大の責任であると思っています。

行政区嘱託員、町、警察による防犯ネットワークづくりに着手して協議をしています。大津地区防犯協会連合会は、広域的な形で管内の防犯活動に取り組んでいます。「こども一〇番の家」の設置もその一つです。

「パトロール中」のマグネット式ステッカーは、防犯協会が効果があったと聞いていますので、町も積極的に取り組んでいきたいと思っています。又、防犯ベルについては、今年度中に予算を計上して、現在準備しております。



荒木 俊彦 議員

住民投票の結果は町を二分 手段を選ばぬ合併推進の運動 このまま合併を強行すれば取 り返しのつかない禍根を残す

五月二十三日に、四町合併の可否に関する住民投票が行われ、五〇%を超す投票率で、わずかながら合併賛成の票が多い（二六〇票）という結果でしたが、投票運動の中で論争、やり方は、大変公正さに欠けるものでした。

特に四町合併に賛成をする「合併推進協議会」が作成し、活字となった宣伝物です。また、元公務員であった数名の方々が街頭から宣伝をなさっておりまして、まさに下品極まる、品性のかけらもない、聞くに耐えないものでした。

「推進協議会」が発行したチラシの内容は、自分達の目的に合わない、自分達の目的達成のためなら手段を選ばない。まったく根拠

のないことで相手を攻撃する。あるいは人権をも無視するもので、この人たちに「町を愛するとか、民主主義を語る資格はない」と言わざるを得ません。

住民投票条例の第十一条（投票運動）は「投票活動は自由とする。ただし、買収、脅迫など町民の自由な意思が拘束され、又は不当に干渉されるものであってはならない」となっています。

この条例の趣旨に反する不当なデマ宣伝によって勝ち得た合併賛成の結果について、尊重する義務を負うことはできないし、合併を強行すれば取り返しのつかない禍根を残すことになる

合併による不安解消の確約はない

住民投票の結果は、まさに町民の意見が真つ二つに分かれている。そういう状況の中で四町合併を強行すれば将来にわたって禍根を残す。合併による不安解消の確約はない。ここは冷静に町民の利益を守る、このことが大津町を愛する町長としての務めではないか。

特に、周辺地域また、町長の出身地域であります北部地域の方々の不安の声に応える勇氣、これを私はあえて求めたい。

大村町長

町政区域の線引きは、やむを得ない 周辺対策・過疎化対策は早急に対処したい

不安の一つとして、市街化調整区域の導入については、合併した場合、将来の市街化区域・調整区域の線引きについては、やむを得ないと考えます。実施まで、早くて五年、遅ければ七・八年かかるというわれ、その間に将来の都市づくりの議論の中で、大津の区域線引きが導入されるものと思っております。

周辺対策あるいは過疎化地域における対策について

周辺対策あるいは過疎化地域における対策をどうすべきかというのを早急に調査を着手しなければならぬと思います。従いまして、今日断言できますことは、こどもからお年寄りまでこのままその地域に住み続けることができるように、あるいは又、新たな定住化促進ができるように、社会福祉でありますとか、教育、農業をはじめとします産業基盤の整備、あるいは生活環境の整備等をどうしたらいいかということ、まず地域の方々あるいは専門の機関に依頼することも含めて、地域振興対策をするための調査に乗り出したいと思っております。

大村町長

投票運動の中で、町長、議員、国会議員まで引き合いに出しての住民へのアピール、あるいはまた、大津町の町政を選ぶ選択肢の表現として、大村町政を選ぶのか、特

定の政党を選ぶのかといった記事もあったように聞いております。また、合併協議会で、まだ方向性が最終決定がなされていない部分・都市計画の問題、高校の通学区の問題について、決定されたかの表現も見受けられました。そういう中で、今回住民投票を実施して、三六〇票の差ではありましたが、賛成多数ということで、合併協議につ

きましては、町民の方のご理解を得たというふうに認識をしています。

趣旨に反するやり方が尊重に値するののかという見解でございませけれども、住民投票そのものは、お一人おひとりの気持ちや条例の趣旨に沿うものであり、結果としては尊重に値するものだというふうに思っております。ただ、残念なことも一部には見られたことは事実です。

投票運動に残念なことがあったのは事実ですが 住民投票そのものは、結果を尊重したい

法定協議会について



坂本 典光 議員

平成十六年五月二十七日第十回菊池南部四町合併協議会が開かれた。

都市計画について、菊陽町は次のように提案した。

「大津町は区域区分（市街化区域と市街化調整区域の線引き）がないので合併後、直ちに区域区分を行い……」

合志、西合志が賛意を示したので議長は多数決で議決しようとした。

議長「十二月からの協議なのでここで議決したいと思いません。」

大津町委員（A）「自分たちも立場があるので議決しないでもらいたい。」

大津町委員（B）「お願いします。」

継続協議にはなったが、次回は議決される見通し。

①庁舎の時は「断腸の思い」と言ってる承した。今回も「断腸の思い」で承するのか。

②大津町の想いが通らないときは、いつでも離脱すると言っていたが、そもそも大津町の想いとは何だったのか。

③三町連合に対して大津町の意見はなかなか通らない。このまま三町の言つなりに押し切られていくのか。

※都市計画問題のその後の経過はP11に掲載しています。

合併特例債について

町民説明会で、町長は合併特例債を使って、下水道工事、プール建設が早まると説明しているが、下水道工事、プール建設に特例債が使えるという保証はあるのか。使えるかもしれないという可能性ではないのか。新市になってから、実際に合併特例債を使おうとする際には、最終的に県の許可が必要はなはずだが。

大村町長

合併のメリットということで合併特例債というのを申し上げましたけれども、私は今

でも合併のメリットとしては合併特例債というものを第一にあげたいと思います。これを使って、遅れているという

大村町長

法定協議会でのやりとりの中で、懸案事項、まだ未解決の問題が二つあります。一つは都市計画の問題、一つは庁舎の位置ということでございます。

大津町が名指しをされた形で区域区分の設定がされますと、合併後直ちに区域区分が設定される文面になります。大変混乱を招くということ

から修正案ではなく、原案に賛成の立場です。都市計画と庁舎の位置については、大津町としては、譲りに譲れないという線がありますので、ここまで継続審議としてきているわけでございます。都市計画については、原案を終始一貫して主張してまいります。

大津町の想い、とは大津町が今まで進めてきた政策の継続性、今後の発展性だと理解しています。

特例債が合併のメリット

表現が不的確であれば避けます。少なくともまた十分整備がされていない、あるいはほかの町村に比べ均一化されていない部分について大津町の社会資本の整備を特例債を使ってやるのが合併の意義でもあります。



4町合併法定協議会の風景

原案を終始一貫して主張する

循環型農業における

堆肥センター建設について



石原 大成 議員

今年の十一月までに畜産農家は、堆肥舎などの整備をするなど管理が必要となり農家には莫大な費用がかかり、後継者のいない畜産農家には大きな負担となります。このような中、現在JAを中心として、大津町循環型農業推進協議会で進められている堆肥センターの建設計画があつていますが、場所選定で難航しているようです。現在予定されている場所は次の二点に問題があります。野菜農家が使用するまでには、二次発酵に二ヶ月を要し、その臭いを脱臭装置で完全に除去することは難しい。しゃへい物もなく特有のまつり風の常習地帯でもあり、すでに同地区からも反対の意見書も提出されています。二点目はその場所は大津の農産物の集出荷の拠点であり、併設した場合、消費者や買い付け業者のイメージダウンやクレーム、敬遠など揺るがしかなない懸念があります。

以上のようなことで農協が地域社会に迷惑をかけるようでは信頼を失い、存在の意義を危くするものである。消費あつての生産であり、地域住民の反発をまねけば地産地消どころではなく、この様な状態の中、行政指導する立場にある町長としての考えを伺いたい。

大村町長

大津町としては循環型農業というのを町の農政の基本政策に掲げて畜産農家、耕種農家、農業団体及び大津町とで組織として「大津町循環型農

業推進協議会」を設立し、若干ですが町からも支援し、家畜排泄物の適正な処理に努めております。JAが堆肥のストックヤード構想を設け、大津町では大津と菊陽地域にお

地域の人たちの理解を深めることが大事です

いって一箇所ストックヤードを建設するというところで構想がある様ですが、土地の問題、耕種農家との連携等の細部にわたる問題もある様です。

今、場所の問題でいろいろあるという意見ですけども、私も直接聞いたわけではありませんが、ここで私が今述べることは出来ませんが、場所論争だけじゃなくて、本質的な部分をちゃんと見極めながら、「それが結果的には町民の方々、地域の方々のためにも役に立つんですよ」という位置付けでないと、畜産農家の排泄物処理だけの目的、耕種農家がそれを利用するだけの目的では無理があると考えられます。

今後モデル的にも、有機の畜産物とか、あるいは低公害無農薬とかそういうものも含めながら、地域の人達にちゃんとした形で理解を深めていくことが大事だし、農家の集まりであるJAが一次的に取り組まなければならない問題であり、また、町としても農政、行政としての責任、これがどういう対応なのかというものも見極めながら進めていきたいと思えます。

水田涵養と遊休農地について

かんよう

大村町長は星田ゴルフ場跡地の購入や広葉樹林植栽など自然環境に力を注いでおられ、その中で白川中流域の水田の地下水の涵養ということで、水張り田の実施をされていますが、面積やその効果、また、熊本市との関係をお尋ねします。また、遊休農地も多くあると思います。面積はどのくらいか、遊休地をどの様にするか構想があればお聞かせください。

大村町長

遊休地奨励金の再検討

今白川流域で取り組んでおられます地下水の涵養対策、これはあくまでも熊本市民に対する水の供給、地下水の安定対策であります。市から農家への協力助成金として、総額二千六〇〇万円程度が交付され受け皿として土地改良区が推進にあたっております。熊本市とは環境の森の事業の協力も含めながら、水に絡んだいわゆる広域協力体制というのも大津町が果たす役割と思います。

遊休地につきましては、現在調査中ですが、約三十haの遊休地があると推測しています。対策として、担い手への利用促進・市民農園などの活用、山間地等の農地につい



水張りされた水田

ては、今後農地として残すか、あるいは自然環境を重視する方向で模索した方がいいのか、そういうことも含めなければなりません。また、一時期取り組んでいた、流動化促進に対する奨励金、これも当然検討しなければならぬことだと思っております。



現在の天津駅前風景

役場南側のオークス広場については、あまり利用されていないように思われる。また、豊肥本線を挟んで町の土地があるので、その有効利用を図るため新駅をつくり、イベント広場として使っているのか。また、現在の駅舎については、大津の古き良き時代を伝える歴史資料館として利用できると思うがこの考えは。

オークス広場に新しい駅を！



藤森昭二朗 議員

周辺整備で町の活性化を

大村町長

駅周辺については、過去からの投資により、ある程度の整備が進んでいる現状です。しかし、駅舎の前が道路で駅前広場がありません。特に駅周辺の住民、商業者を中心に駅をまたいで南北に自由に通れる通路が要望されております。したがって、本年度は当初予算で肥後大津駅整備基本計画作成業務を立ちあげるため予算化、いわゆる駅周辺の開発コンサルタントを活用、全容がわかり次第、開発推進計画を進めてまいります。

四町合併に向けて遅れている 道路整備を早急に

大津町の道路整備は、菊陽町などと比べて遅れている。工夫次第で経費をかけずに整備ができるのではないかと。

①香梅前、ジャスコ交差点南側、大津小交差点の南側などが考えられる。

②南部地域の県道瀬田竜田線、瀬田熊本線の改良の遅れが目立つ。県議会や地元出身国会議員の方とも連携して、合併までに目途をつけてもらいたい。

県に強力に要望します

大村町長

県道に関連するものは強力に改良を要望します。ジャスコ交差点南側、大津小学校の南交差点などは町行政サイドで詰めていきます。県道瀬田竜田線については継続工事として瀬田区間を行っていただきます。用地の取得次第では大林地区は平成

四町合併にあたり町の 均衡ある発展の計画は！

①町が持っている広大な町有林について、広域林道等の整備を含め、有効利用を図るべきである。特に大津町の六十四地区の高齢者の方々の知恵やアイデアを出してもらって、次世代のこどもたちにも森林に親しみ活用を図ってはどうか。

②現在ある町道・農道の連結を図り、豊肥線沿いのオークスプラザから文化ホール、スポーツの森、岩戸の里までのジョギング

ロードを整備。

③空港東側の岩坂台地に整備中の農免道路と瀬田熊本線をつなぐ道路について現在ある町道を改良して整備を考えてはどうか。

大村町長

広域林道沿線には環境の森を構築するために約八十八haを買収し熊本市と提携し植林を進めます。現在ある町道農道の連携については今後の道路行政のあり方として町民地

均衡のとれた 道路整備を急ぎます

また、今後の路線改良は長期的計画を立てたあと、道路整備には担当部署を配置します。

十九年度に完了する予定です。また、錦野外牧地区の県道外牧バイパスの用地取得次第で本年度に工事予定となります。山西大津線は鳥子川北側交差点から森橋まで用地の取得を終り十七年度に完成します。県道の拡幅改良工事は県財政難もありますが、早期完成に向け、強く要望していきます。

域の皆さんが健康増進のためジョギングロードあるいはウォーキングロードの整備と生活道路の整備は分けて一体化は危険性を伴いますので健康増進のための施設、スポーツ普及育成のため運動公園の整備を進めると共に生活道の整備も同時に進めてまいります。

農地流動化集積を更に促進します

大村町長 平成四年度から平成十三年度まで大津町高生産性農業構造確立対策事業で経営規模拡大や農地流動化集積を促進するための奨励費（助成金）を交付した経緯があり、五年以上の賃貸借に対し総額で一億三千六百万円程交付した実績があり、現在一

定の役割を果たしたことで事業を中止、今日に至っておりますが、合併協議のなかでも必要な事業と位置付け新市計画にて奨励費を支出することを確認しました。今後、農地の流動化集積に積極的に行行政が関与し総合的農政を進めたいと思います。また、儲かる農業を目指すためには、経営内容を把握し農家自ら法人化に移行し経営体制を確立する必要があります。農地集積の流動化促進に更なる努力をします。

担い手の経営支援と農地集積促進を図ろう

食料の自給率の引き上げが叫ばれているなか、担い手の経営状況を見ますと自立経営に乏しく、農業生産を維持するには、個々の規模拡大が必至であり農地の流動化が鈍っている現実を踏まえ、農地利用集積対策が重視されてまいりましたので、本町においても担い手の育成、支援の一助として、農地流動促進の進捗の観点から貸借に伴う助成金の支出が急務と思われるが所感を伺います。



手嶋 靖隆 議員

給食を通じて農の大切さを学ばせます



給食センターでの調理現場

武田教育長 現在、JAのとれたて市場を通じ鮮度のなもの、あるいは定期的なものを考慮し給食の折に地産地消のことを含めながら生産者の言葉を給食時に各学校で放送しPRに努

学校給食での食材は、本町で生産された農産物を計画的に栽培し、安全な食材として供給できる体制をとるべきであるが、現在、どのような態勢になっているのか。また、町内での学校給食用、農畜産物の供給状況はどうなっているのか、関係団体との協議の経緯と今後の対応について所見を伺います。

地産地消に伴う学校給食の対応は！

公共公園における遊具の再点検を

先般、大阪府高槻市の団地で小学生二人が回転遊具で指を切断した事故が発生以来、各都道府県が公共遊具等の施設を点検し、再発防止に努めている現状を踏まえて、本町においては、

めています。食べものは児童生徒の体を育む大切なもので、栄養があり安全なものを食材としております。また、地産地消の組織的なことについては町関係団体、学校教育課等と一緒に「からいもが育むまちづくり関係者会議」を行い、給食委員会と協議しながら給食の安全、安心の確立に向かって取り組んでまいります。

区と連携して安全に努めます

大村町長 先般、事故発生の後、町内公園の遊具等の点検を実施したところ、類似の回転遊具はありませんでした。また、危険性の高いものも今のところ見受けられませんでした。ただ、今後は何が危険かわからない分野も沢山ありますので、更に調査・点検を進めていきます。担当職員による点検もさることながら、地元の自治会・区・関係機関と連携し、安全確保に万全を期します。



遊具の安全確保は万全に

のき
併ご
合う

都市計画「直ちに線引き」を決定 合併期日の延期が提案される

18回合併問題特別委員会 7/7

6月30日合志町で開かれた第11回南部四町合併協議会の結果報告と富永会長から提案された合併期日の延長を協議

した。

継続協議であった都市計画の区域区分（市街化区域と市街化調整区域の線引き）に関

する協議では、大津町は原案を主張した。採決の結果、賛成多数で菊陽町の修正案に決定した。

議員辞職勧告を決議

平成16年5月7日第4回大津町議会臨時会において、志賀敏男議員の議員辞職勧告決議案が提出され、議会は賛成多数で可決した。

「志賀敏男議員の辞職勧告に関する決議」

熊本区検察庁は、志賀敏男

議員が経営する会社が、他社の社員を同町内の工場へ不法にあっせんしたとして、職業安定法違反（労働者供給事業の禁止）と労働基準法違反（中間搾取の排除）の罪で、志賀敏男議員と同社専務及び同社を、熊本簡易裁判所に略式訴訟し、それぞれに罰金30万円を命じました。

新聞報道によると、志賀議員は、法律の理解が足りず、

このような事態を起こして反省している。罰金は近日中に納める、となっています。

今回の事件は、町民に対する議会の信用の失墜であり、町民の怒りと失望は、はかりしれません。

大津町議会としても、一刻も早く町民の皆様の信頼を回復するため、職業安定法違反と労働基準法違反の罪で、略式起訴された志賀敏男議員に対して議員の辞職を勧告する。以上決議する。

平成16年5月7日

熊本県菊池郡大津町議会

決定された修正案

「都市計画区域については、現行のまま新市に引き継ぐ。ただし、菊陽町、合志町、西合志町は熊本都市計画区域で区域区分（線引き）があるが、大津町は大津都市計画区域で区域区分がないので、合併後、直ちに区域区分を行い、新市として一体的な発展を図るものとする。また、新市独自の都市計画区域の指定を視野に関係機関との調整を行う。」

※注 大津町は合併後、直ちに市街化区域と市街化調整区域の線引きをするということ

いま一つの継続協議であった新市の事務所の位置については各町意見がまとまらず再度継続協議となった。

合併期日の延期を提案

法定協 富永会長の提案

「合併の期日は平成17年2月28日と第6回協議会で確認されており、この決定は法律の改正以前であり、合併期日を延長しても特例法の恩恵を受けられませんので、期日を再検討してほしいと思います。この協議会は協議の期間が短く、事務・事業の調整、電算システムの検討等には支障をきたしています。住民に有利な合併をするため、合併期日の延長をすべきではありませんか。各町とも持ち帰り、協議してください。」

大津町議会は延期に反対

19回合併問題特別委員会7/16 合併協議会で提案された合併の期日延期について7月16日、委員会審議を行い、議会は反対することにした。

大村町長は「平成17年2月28日の合併を前提として住民投票が実施されている」と発言があり、議員から「延期をつきつけられたら受けてたつべきだろうが富永会長の突然の提案には納得できない」などの意見が出され、採決の結果、期日延期反対が多数となり、大津町議会は、合併の期日延期に反対することに決定した。（合併が延期されると大津町は、来年二月町議選挙となる）

合併の賛否を問う 住民投票の結果

菊陽町、合志町、西合志町との四町による合併の賛否を問う住民投票が5月23日行われ、開票の結果、賛成票が過半数を占めた。

この住民投票は3月議会で成立した住民投票条例に基づいて実施されたものである。

合併賛成
6345票

合併反対
5985票



4町合併について議論する町特別委員会



岩戸の里温泉源を視察



陳情ヶ所を視察（錦野）



国保会計などを審議

経済

建設

総務文教

常任委員会

議会の動き

3月

- 29日 第3回菊池南部四町社会福祉協議会合併協議会
第8回菊池南部四町合併協議会事前打ち合わせ
第8回菊池南部四町合併協議会

4月

- 2日 菊池広域連合議会全員協議会
- 8日 16年第3回大津町議会臨時会
- 14日 菊池郡町村議会議長・議会事務局長合同会議
- 16日 第8回菊池南部四町合併協議会大津町委員会
全員協議会
- 19日 菊池広域連合議会議員全員協議会
- 20日 全員協議会
第14回市町村合併問題調査特別委員会
- 23日 第9回菊池南部四町合併協議会大津町委員会
- 27日 第4回菊池南部四町社会福祉協議会合併協議会
第9回菊池南部四町合併協議会
- 30日 第15回市町村合併問題調査特別委員会
全員協議会

5月

- 7日 16年第4回大津町議会臨時会
- 10日 菊池消防広域再編推進協議会設立総会
- 12日 愛知県師勝町建設常任委員会視察
- 14日 第10回菊池南部四町合併協議会大津町委員会
- 24日 第16回市町村合併問題調査特別委員会
- 26日 第11回菊池南部四町合併協議会大津町委員会
- 27日 第5回菊池南部四町社会福祉協議会合併協議会
第10回菊池南部四町合併協議会
- 31日 第29回町村議会議長研修会（～6月2日）

6月

- 15～21日 16年第5回大津町議会定例会

律義者の子だくさん

いろはにほへと ⑨

律義とは、義理がたいこと、あるいは実直なことをいう。律義者とは、そういう生活をしている人のことである。

昔といっても昭和十年代ころまでは職人や小商人には律義者が多かった。そういう人たちではなくても八人、十人もの子どもがいる家庭はいたるところにあった。

特に子だくさんには、まじめな働き者が多かったことから、庶民の暮らし、風俗を言いあらわしたものと通用していた。

また、律義者の子だくさんは、子どもたちの食費に追われて、いくらこつこつ働いても貧乏していた。

編集後記

梅雨明け宣言もあり、今年からは梅雨で終り、本格的な夏のおとずれとなり、私達の方は水に恵まれて渇水の心配はありませんが、ところによっては、今夏の渇水が心配されるところがありはしないだろうか。やはり梅雨時期には、災害の発生しない様に梅雨らしく雨がほしいものですが、振りかえって見ますと、ここ近年は当町としては大雨を始めとする自然災害の被害を幸いにもうけていません。

子どもの頃を思い出して見ますと、梅雨の時期には現在ではサイレンが打ちなされていますが、その頃は梅雨明けまでには何度か半鐘が打ちなされて、住民に非常事態の知らせがありました。近年は防災無線に変わり、非常を知らせる半鐘の乱打は聞かないことにしたことはありませんが、何かなつかしく思われます。ここにも時代のうつり変りを知ることが出来る様です。

（大田黒記）

議会広報編集特別委員会

委員長 長彦
委員 荒木俊
委員長 尾純一朗
委員 月尾純一朗
委員 嶋靖隆
委員 手嶋英生
委員 大田黒典光
委員 坂本典光

この議会だよりはリサイクル推進のため、古紙一〇〇%の再生紙を利用しています。